

メセナ群馬

2023 夏



「朝顔」加藤恵

詩都逍遙 前橋・広瀬川河畔

前橋の市街地を流れる広瀬川のほとりには、萩原朔太郎の詩碑をはじめとして、広瀬川美術館など、芸術文化の香りがあふれています。後世に引き継いでいきたい私たちの財産です。



広瀬川美術館（旧近藤嘉男住居兼アトリエ）の窓



伊藤新吉詩碑



萩原朔太郎詩碑



広瀬川と比刀根橋



前橋空襲記念碑

昭和 20 年 8 月 5 日の前橋大空襲で市民 535 名が亡くなりました。特に、比刀根橋防空壕では、最も多くの人々が犠牲となりました。



交水堰（こうすいぜき）の水の流れ



交水堰の案内



交水堰から川下を眺める。



比刀根橋から見た弁天通りアーケード入口

国道 17 号線に架かる厩橋から、広瀬川河畔の遊歩道を東に向かって歩くと、広瀬川美術館の昭和レトロな建物が見えてきます。現在は、金・土・日曜日の開館ですが、近藤嘉男の作品を中心に様々な企画展示が行われています。画家のアトリエの窓から眺める広瀬川は、抒情をかき立てるビューポイントです。近くには、萩原朔太郎や伊藤信吉、また「萩原朔太郎賞」を受賞した詩人の詩碑が建っています。比刀根橋のたもとに出ると、右は弁天通り商店街のアーケード入口で、昨年、前橋工科大学の学生さん達によって、ファサードが新しくデザインされました。入口に向かって左側の角は、花屋さんでしたが、今は空き地になり、草が茂っています。何台かのトラックが入り、再開発が始まるようです。さらに東へ進むと、大きな水音が聞こえてきます。「交水堰」です。案内板によると、江戸時代に水運のための「広瀬河岸」があったところで、のちに水利のため「十五本堰」が設けられたとあります。現在の形になったのは大正時代とのことですが、水車や工業用水に利用され、「糸のまち」の往時を偲ばせる魅力的な景観のひとつと言えます。さらに東へ進むと前橋文学館の建物と三谷慎作の彫刻・萩原朔太郎像が見られます。立川町通りと接する諏訪橋を渡ると、岡本太郎の「太陽の鐘」。そして、上毛電鉄・中央前橋駅に到着します。近年、街並みの変化も著しく、往古への思いと未来への期待が交錯する街歩きでした。



再開発が進む一画



令和5年度定例社員総会の報告

去る5月29日(月)午前10:30~午前12:00まで、ホテルサンダーソン2階会議室において、令和5年度の定例社員総会が開催されました。ここに改めてご報告いたします。

冒頭、成立確認(出席会員7名・委任状7名)が行われ、総会の成立が確認されました。

以下、次第に従って報告をいたします。

定時社員総会次第

- (1) 会長あいさつ 福田一良会長
- (2) 議長選出
- (3) 議事録作成者選出
- (4) 議事

第1号議案 令和4年度事業報告について
資料1に基づき説明がされた後、承認されました。

第2号議案 令和4年度決算報告について
資料2に基づき説明がなされた後、承認されました。
また、監事より、決算報告の内容について、正確かつ適正であることが報告されました。

第3号議案 監査(補欠)選任の件
監事の選任に先立ち、議長より理事長・蟻川七郎次氏の逝去に伴い、4月25日の理事会において、岡野訓也氏が後任の理事長に選任されたことが報告されました。
続けて、監事・金子聖子氏の後任として、内山光明氏が選任されました。

(5) その他

- ①令和5年度より、鈴木克男氏が事務局長に着任することになりました。
- ②5月26日に、顧問・理事数名で、まえばしギャラリー1階にオープンした「タカ・イシイギャラリー」を見学したことの報告がありました。

資料1 事業報告

※事業報告については、会報「メセナ群馬 2023 春」に主催・後援事業について掲載し、報告させていただいております。

理事長就任にあたって

岡野邦也



この度、理事長に選任されました岡野邦也です。社会環境の変化が著しい現代にあって芸術文化の重要性が益々増していることが認識されます。

芸術文化と申しますと、一般に美術や音楽などを思い浮かべますが、普遍化して考えるとき、私たちの生活に関わる全てが芸術文化と言えるのではないかと、思っております。小栗上野介の逸話ではありませんが、ネジ一本にも、その国の技術や文化の粋が込められていると考えております。

私たち「公益社団法人企業メセナ群馬」が、芸術文化に向き合う姿勢の基本には、世の中のすべてに通い合う理念があると言えます。

「文化立国」「地域創生」などの言葉が喧伝されるころですが、私たちはそれを具体的な活動として、地域で活動する芸術家の支援や文化活動の育成に取り組んでまいりました。

芸術文化奨励賞をはじめとして、県展、連盟展その他へ、賞を提供していることは、県民に広く知られるところとなっております。秋には、株式会社ヤマトの協力を得て、令和4年度芸術文化奨励賞受賞者の作品展も予定されております。

これからも、市民の目線、県民の目線で、この活動を進めてまいりたいと思っております。お力添えの程、宜しくお願い申し上げます。



令和5年度 役員ならびに組織体制

会 長 福田 一良 (再任)	理 事 新井 聡 (再任)	監 事 内山 光明 (新任)
理 事 長 岡野 訓也 (新任)	理 事 内山 充 (再任)	監 事 星野 大輔 (再任)
専務理事 野村 品司 (再任・執行理事)	理 事 塩谷 輝行 (再任)	
常務理事 黒岩 保弘 (再任・執行理事)	理 事 中島 清明 (再任)	顧 問 染谷 滋 (在任)
常務理事 添川 秀樹 (再任・執行理事)	理 事 千木良芳明 (再任)	
事務局長 鈴木 克男 (新任)		
事務局員 飯塚 穂子 (再任)	岩瀬 栄子 (再任・会計)	酒井重良 (企画) 和佐田幸子 (再任)

資料2 令和4年度 決算報告より

貸借対照表

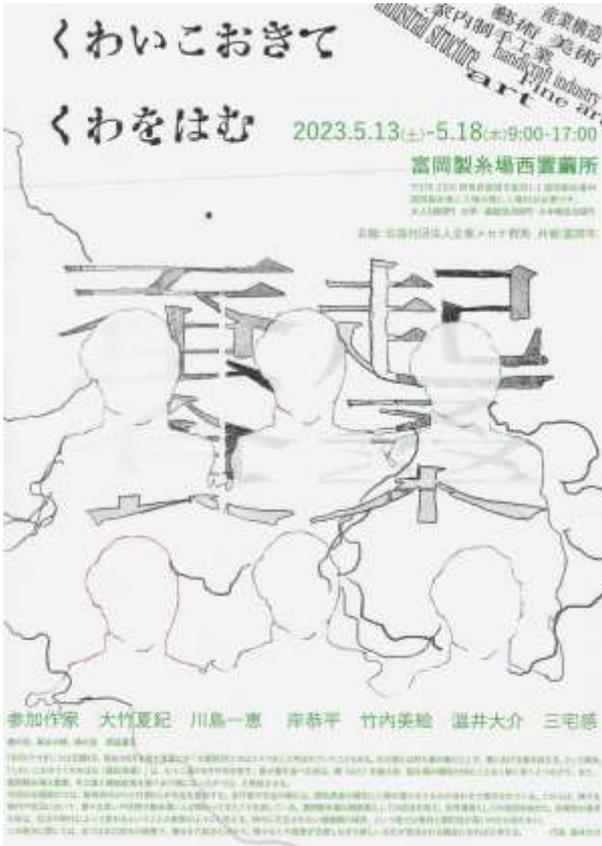
令和5年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	770,291	70,262	700,029
未収金	1,919	219	1,700
流動資産合計	772,210	70,481	701,729
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産合計	0	0	0
(2) 特定資産			
公益目的事業資金	0	800,000	△800,000
特定資産合計	0	800,000	△800,000
(3) その他固定資産			
その他固定資産合計	0	0	0
固定資産合計	0	800,000	△800,000
資産合計	772,210	870,481	△98,271
II 負債の部			
1. 流動負債			
前受金	490,000	0	490,000
預り金	53,154	34,722	18,432
流動負債合計	543,154	34,722	508,432
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	543,154	34,722	508,432
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	0	800,000	△800,000
指定正味財産合計	0	800,000	△800,000
2. 一般正味財産	229,056	35,759	193,297
正味財産合計	229,056	835,759	△606,703
負債及び正味財産合計	772,210	870,481	△98,271

令和5年度 芸術家支援・主催事業（富岡市共催） 富岡製糸場西沖繭所多目的ホール

「くわいこおきてくわをはむ」 令和5年5月13日（土）～18日（木）



三宅 感



温井大介



川島一恵



岸 恭平



竹内美絵



大竹夏紀

「加藤恵 一絹に描く花の彩」 令和5年6月2日(金)～16日(金)



【作家プロフィール】

多摩美術大学、東京芸術大学大学院修了後、東京文化財研究所研究補佐員を経て、2010年～2023年多摩美術大学 非常勤講師(文化財学 日本画)として勤務。2011年から毎春福島県の三春町を主に会津、花見山等で写生取材、制作、2012年より福島の花を福島県産川俣シルクに制作、展示する活動を継続中。



芸術文化後援事業

第70回記念 2023 連盟展



企業メセナ群馬賞（日本画）「動」(F30) 猪熊きみ江



企業メセナ群馬賞（洋画）「Parallel World」(F100) 豊泉光正



企業メセナ群馬賞（ジュニア部）「ごほうび」(F20) 平井まど花



連盟展会場風景

作品は群馬美術家連盟代表・真下道明氏による

「チョコレートパッケージのキャットキング」(F200)

令和5年6月21日
(水)～26日(月)、
昌賢学園まえばしホ
ール(市民文化会館)
において、第70回
記念 2023 連盟展
が開催されました。

本法人では、展覧
会の各部門に「企業
メセナ群馬賞」を提
供し、県内の文化活
動への支援を行って
います。

本年度の「企業メ
セナ群馬賞」は、猪
瀬きみ江さん、豊泉
光正さん、平井まど
花さん、桐生工業高
校建築研究部の皆さ
んに決められました。

「泥中蓮花」(日本画)

600X1800

群馬美術家連盟顧問

鈴木克男



企業メセナ群馬賞(高校生シユニア建築)
「昇龍・蛇ノ目・夜叉」(200X200X200)

桐生工業高校建築研究部

酒井重良

私が広瀬川美術館（旧近藤嘉男アトリエ）の副館長になってから、もう 10 年が過ぎようとしている。

最近、この付近の街の様子の変化が著しい。美術館の西隣にあり、国道 17 号線に面して建っていた和菓子店の武蔵屋が閉店して久しいが、同じく 17 号に並んで立っていた画材店「鷄林堂」も 6 月に入って取り壊されてしまった。武蔵屋も近々同じようになるらしい。すっぱりと空間が出来て、美術館も西の壁面が顔を出すことになる。

私が教員として前橋に赴任したのは、1970 年（昭和 45 年）の 4 月である。前橋は、詩人・萩原朔太郎の故郷ということもあり、大渡橋や新前橋駅に行ってみたり、敷島公園や広瀬川の畔にある詩碑を訪ねたりした。

広瀬川美術館は、その頃、画家・近藤嘉男のアトリエ兼子供のための絵画教室ラ・ヴォンヌとして稼働していた。

記憶に残っているのは、夕暮れの頃、黒い鉄格子の大きな窓と、古いランプの形をした街灯だった。

自分の空想というか妄想の中では、行ったことのないパリの街のギュスターブ・モローの美術館のようなイメージで捉えていた。河畔の柳の枝が重く垂れさがっていて、神秘的なイメージを増していたように記憶している。このラ・ヴォンヌで絵を学んだ人にとっては、もっと明るく楽しい雰囲気を感じていたのではなかろうか。

同じように、前橋は、まだ「糸の街」としての面影を残していたように思う。白い丈の高い煙突が聳え、レンガ倉庫が立ち並び、家々の周りにはきれいな水が流れる側溝があった。

一方、市庁舎、市立図書館、県立図書館、県民会館、市民文化会館などが、新しく建設、または改修され、街は今までにない都会的な表情を見せ始めてもいた。

私自身について言えば、経験のない職場での日常の中で、安定した生活を築くことに精一杯で、市街地の在り様について深く考えることもなかったように思われる。時代の雰囲気もあり、変化は「発展」というイメージで捉えられていたように思う。

しかし、バブル期を過ぎると、徐々に中心市街地は活気を失い、老舗のデパートや呉服店、書店、電気店、和菓子店なども閉店となり、建物が取り壊されたもの

もあった。景観は一変してしまった。

そうした時、はじめて自分が暮らす街について考えるようになった。私たちにとって大切なものとは何なのだろうか、と。

時たま、上京した折に、駅地下街の雑踏や高層のビル群に囲まれた界限を歩いていると、急にめまいのような空虚感に襲われることがあった。

機械工学の進展により、巨大な規模の建築物や機械システムが実現し、近年生成 AI の登場によって、人間の手より遥かに効率的な生産生活が現実のものとなっている。

しかし、そこには、人間の尺度を超えたものの持つ虚構性あるいは非現実感が色濃く漂っているようにも思えるのである。

ようやく最近になって、前橋の街の改変も急ピッチで進んでいるようである。新しい建築や複合的な施設、レトロモダンなカフェなどの参入によって、街を訪れる若者の姿も多く見られるようになったという。

再開発を進めることは当面の経済活動にとって必要なことであると思う。

しかし、一方でまた、往時の前橋の姿を留めている建物を残していくことも、文化的に、そして経済的にも大切なことではないだろうか、と思えるのである。

最近のニュースによると、盛岡などの地方の都市を外国からの観光客が多数訪れるようになってきているとのことである。明治期に遡る建築遺産が、魅力ある街のたたずまいを作り出しているのである。

そこを訪れることは、その都市が持っている歴史を学ぶことであり、それを現代につないできた地域の人々の心に触れることでもある。そうしたローカルなものに対する郷愁というか、人々の営みの原点を探し出して、それを愛でるような考え方が、世界中で顕著になってきているようである。

変革と保存、何を残し、何を改めるか、課題は尽きないが、「糸都」あるいは「詩都」の面影を残していきたいと思うのは、自然なことである。

建物や施設に限らず、初市や七夕などの季節の行事、さらに言えば、私たちの日常そのものが、前橋のかけがえのない景観を形作っているのである。

そうしてみると、良き前橋の街作りに最も必要なものは、私たち一人一人の想像力であるのかもしれない。

（群馬県美術会副会長）

令和5年度 公益社団法人企業メセナ群馬 会員名簿

○正会員

株式会社 岡野機械

371-0855 前橋市問屋町 1-7-1

有限会社 共生システム・アリソン

377-0425 吾妻郡中之条町大字西中之条 867

株式会社 黒岩測量設計事務所

371-0044 前橋市荒牧町 1-40-24

株式会社 群馬銀行

371-0846 前橋市元総社町 194

群馬トヨペット株式会社

371-0841 前橋市石倉町 2-6-5

群馬ヤクルト販売株式会社

371-0857 前橋市高井町 1-7-1

株式会社 詩季画材

371-0805 前橋市南町 4-47-6

株式会社 上毛新聞社

371-8666 前橋市古市町 1-50-21

株式会社 ステージサービス群馬

371-0846 前橋市元総社町 2-30-5
クリエートヒルズ元総社 302

株式会社 東和銀行

371-0023 前橋市本町 2-12-6

永田会計事務所

371-0014 前橋市朝日町 3-13-8

株式会社 福田不動産

371-0026 前橋市大手町 2-6-25

星野総合商事株式会社

371-0017 前橋市日吉町 4-36-1

株式会社 ヤマト

371-0844 前橋市古市町 118

○賛助会員（法人）

学校法人有坂中央学園

371-0844 前橋市古市町 1-49- 1

社会保険労務士法人板垣労務管理事務所

371-0801 前橋市文京町 2-9-19

栗原レントゲン株式会社

371-0031 前橋市下小出町 3-23-1

群馬日野自動車株式会社

379-2114 前橋市上増田町 258-10

群馬三菱自動車販売株式会社

370-0071 高崎市小八木町 1660

株式会社 コーア

370-1201 高崎市倉賀野町 2190

有限会社コミュニケーション優美

370-1127 佐波郡玉村町大字上之手 843-8

新制配電株式会社

370-3522 高崎市菅谷町 20-215

税理士法人テシマ会計

371-0013 群馬県前橋市西片貝町 4-13-2

株式会社ちぎらホテル

371-0013 前橋市西片貝町 4-14-1

株式会社天国社中央

379-2154 前橋市天川大島町 2-26-10

ホンダカーズ前橋東

379-2154 前橋市天川大島町 1-3-29

ユニオンシステム株式会社

371-0805 前橋市南町 2-38-4

和佐田幸子司法書士事務所

371-0026 前橋市大手町 2-18-7

○賛助会員（個人）

相沢慎司

浅見秋美

飯塚まり子

岩瀬栄子

打越正弘

内山光明

大谷泰治

金子めぐみ

河内世紀一

黒岩千春

小林和義

酒井重良

鈴木克男

関口俊雄

染谷 滋

竹内理恵

中島資浩

野中志保

林 幸一

船崎秀信

峰岸祥子

真下京子

山本和代

世界遺産が結ぶ糸 ― 絹遺産各地の文化交流を求めて

桂川美帆 染めの世界

うた
絹に染め描く心の詩

2023. 7/19 (水)▷ 8/2 (水)
9:00-17:00 入館は16:30まで

主催：公益社団法人 企業メセナ群馬
共催：富岡市
後援：上毛新聞社 / Hideharu Fukasaku Gallery / FEI ART MUSEUM YOKOHAMA

世界遺産 富岡製糸場西置簾所多目的ホール
〒370-2316 群馬県富岡市富岡1-1 ☎：0274-67-0075

*観覧料は入館料が必要です。
大人 ¥1000、大学生 ¥250、小・中学生 ¥150



世界遺産が結ぶ糸 ― 絹遺産各地の文化交流を求めて

桂川美帆 染めの世界

うた
絹に染め描く心の詩

2023. 7/19 (水)▷ 8/2 (水)
9:00-17:00 入館は16:30まで

世界遺産 富岡製糸場西置簾所多目的ホール

主催：公益社団法人 企業メセナ群馬
共催：富岡市
後援：上毛新聞社 / Hideharu Fukasaku Gallery / FEI ART MUSEUM YOKOHAMA

世界遺産 富岡製糸場 〒370-2316 群馬県富岡市富岡1-1

*観覧料は入館料が必要です。
大人 ¥1000、大学生 ¥250、小・中学生 ¥150

TEL027-289-0614

私は、染めることで得られる素材自体の発色と、絵の具とは異なる質感に魅せられ日本最古の防染技法である「ろうけつ染」という表現手法で作品を制作しています。私が表現したい光と湿度、風景観、鑑賞者へのメッセージは、染色という行為が呼び水となっています。染色は物質自体を発色させる行為です。染液が繊維の芯まで染み渡った時、透明度が高く鮮やかな、それでいて重厚な色彩を得られると私は考えています。柔らかな布の質感と光沢は、各々の記憶の中にある美しい景色の煌めきを呼び起こすでしょう。伝統の技術を生かした独自の空間造形作品を展開し、人々の胸を打つような作品を目指して制作に励んでいます。

【作家プロフィール】

- 1987 東京都出身
- 2010 東京藝術大学 美術学部工芸科染織専攻卒業
- 2012 東京藝術大学大学院美術研究科工芸専攻染織研究領域修了
- 2013 三菱商事アート・ゲート・プログラム 2013 年度奨学生
- 2015 東京藝術大学大学院 美術研究科博士後期課程 美術専攻工芸研究領域（染織）修了 博士号取得（博美 第479号）
- 2015～2018 東京藝術大学 美術学部工芸科染織研究室教育研究助手
- 2015～2018 日本クラフトデザイン協会正会員
- 2018年～ 東京藝術大学美術学部工芸科染織研究室非常勤講師

「メセナ群馬 2023 夏」

発行：令和 5 年 7 月 25 日（火）

編集：公益社団法人 企業メセナ群馬事務局

〒371-0805 群馬県前橋市南町 4-47-6

(株)詩季画材内

TEL027-289-0614